

ぼっけもん

231 ゴキブリ夫婦



『心に響く大崎の花火』

大崎七夕さあで打ち上げられた花火は1200発。大きく、美しい花火はきっと皆さんの心を奪ったことでしょう。

会場では、打ち上げられるたびに「きれい」とたくさんの声が聞こえました。

来年もご家族・ご友人をお誘いの上、大崎七夕さあへご来場ください。感動しますよ!

今月の表紙

薩摩郷白 兼題 『損』

祝儀が出つ 踊らな損ち 婆も励つ
 (唱) 手足しゆバタバタ 見い方が恥ね
 西ノ園 ひらり
 高額け会費 食んな損じやち 頑張つ食つ
 (唱) メタバ解消は 明日かいじやろ
 北村 虎王
 子分限者 下がいで損な 末子
 (唱) 本立ち可哀想か いんにやも言わじ
 満石 うらら
 廉売ち 要らんとも買つ 損ぬしつ
 (唱) 廉しち釣られつ あいこいち買つ
 二見 愚楽満
 嬉しとい 嬉しち言わん 損な性格
 (唱) あつさい言えは 可愛せ主人じやばつ
 諸木 小春
 客寄せい 損な覚悟ん 目玉品
 (唱) 損して得くば 取る言う計算
 上窪 小絵
 損な事ちや 計算が牙ゆい 守銭者
 (唱) 一円高けち 社長に文句
 上村 牛歩

大崎短歌会 兼題 『敗戦』

敗戦の日の 松川校長の 護身術
 生涯忘れる ことあるまじき
 児玉 チツ
 敗戦で 生きることへの 戦いが
 始まる母と 小二の私
 高瀬 睦子
 敗戦など 想像もせぬ 龍山に
 大きソ連機 ビラ撒きて去る
 上南 紀子
 筆をもて 国定教科書 くるぐるど
 塗りつぶしたる 日を忘れ得ず
 大和 てるみ
 敗戦の 日の夕空を 南へと
 飛び立ち逝きし 司令機を見き
 原田 葉子

大崎俳句会

初生りの 茄子三本や 神棚に
 坂元 つる子
 帰へり徑 涼しき風に 吹かれをり
 桑原 正樹
 夕暮れの 低き乱舞や 夏茜
 宮脇 洋子
 バスの窓 右も左も 青田かな
 宮下 のし
 夏鴉 高き一声 樟の秀に
 三浦 倫子
 一人居の 夕餉早しと ほととぎす
 折田 スズ
 いつの間に 隈なく茂る 柿若葉
 春田 昌子

人権啓発シリーズ

外国人の人権

～国際社会を築くパートナーとして、深い交流を～

外国人にも暮らしやすく

言葉や習慣の違いから、宿泊施設や店舗などへの入店、マンションへの入居を断られたり、職場で不利な扱いを受けるなど、外国人への人権侵害問題が起こっています。また、欧米の外国人には愛想良く接し、アジアやアフリカの外国人には横柄な態度をとるなど、接し方を変える人がいます。国が違えば、文化や習慣が違ってあたりまえです。日常生活の一つひとつに、それぞれ違うマナーがあります。国籍や肌の

色で差別などせず、異文化を寛容に受けとめ、相違を認め合うことで、真の国際交流が生まれます。

お互いを尊重し合うことが大切です。

観光客へおもてなしの心を

外国人の宿泊者数は、鹿児島県でも増加しております。今後も国際化は進み、外国人とふれあう機会がますます増えていきます。人権に国境はなく、おもてなしの心は世界共通です。大崎町を訪れる外国人観光客を、あたたかい気持ちで迎えましょう。